青森県高等学校PTA連合会事務局 〒030-0113 青森市第二問屋町4丁目11-6 計量検定グループ庁舎内 TEL 017-757-8586 FAX 017-757-8587

2019.7.12

青森県高P連調査広報委 題字:八戸高等学校 諏訪内博彦

E-mail: akp017si@galaxy.ocn.ne.jp http://www.aomori-koupren.com/

等学校PTA連合会 下北むつ大会

されました。

会場ロビーでは

下北むつ大会が開催 等学校PTA連合会 令和元年度青森県高



が授与されまし 真一氏に表彰状 A前副会長山田 林高等学校PT が、五所川原農 川毅氏に感謝状

きいと力強い挨拶がありました。 家庭でのコミュニケーションが重 新たなテクノロジーの時代へ突入 ました。下北むつ地区協議会副会 カムミュージックに迎えられ、 委員会・音楽部の皆さんのウェ に始まり、中村美津緒大会長から 長である由川裕規氏の開式の言葉 やかな雰囲気の中開会式が始まり し、大きく変化し続ける今こそ、 続いて大湊高等学校父母と教師

そ380名が集い

7日、下北文化会館 る季節となった6月 がすがしく感じられ

青葉を渡る風がす

激動する世界と未来へ

述が

に県内各地からおよ

ました。 の言葉を語られ 意気込みと歓迎 の開催に向けた る下北むつ大会 最初の大会とな 行委員長が令和 吉田錦一大会実 の会会長である

PTA前会長益 賞者を代表して 状贈呈では、受 三本木高等学校 感謝状・表彰 ました。

私達保護者の役割は大 和

員が協力し合うことが必要不可欠 明るい未来のために保護者と教職 動という本来の目的を見失わない 返るとともに「少子化により学校 だ。」と述べていました。 ことが大切であり、子どもたちの もたちの未来や成長につながる活 今、PTA活動の根底にある子ど の統廃合が否応なしに進められる 氏がこれまでのPTA活動を振り 等学校PTA前会長である益川毅 受賞者代表挨拶では、三本木高

和嶋延寿青森県教育委員会教育 会会長からお祝いのことばがあり 長、宍倉慎次青森県高等学校長協 次に佐々木郁夫青森県副知事と

持って成長しその希望をふるさと は未来を担う子どもたちが希望を の三者連携が重要である。青森県 めの人材育成は学校・家庭・地域 る青森』がスタートし、実現のた 年度から青森県基本計画『選ばれ 青森で実現できるよう施策に取り 佐々木郁夫青森県副知事は、本

ていると話されました。

表彰状が授与されました。最後に 学校前渉外部主任の會津一輔氏に 名博氏に感謝状が、青森商業高等 むつ工業高等学校前校長である暇 して最優秀賞が授与されました。 に広報紙コンクール入賞校代表と 八戸工業大学第二高等学校PTA いて、退任校長を代表して

目標を掲げていると話されま と文化・スポーツの振興の3つの 地域の活力を創り出す人財の育成 向上。二、子どもを守り支え安心 学ぶ意欲や主体的に探究する力の 長は教育の施策の柱として、一、 とおっしゃられました。 PTAの関わりにも期待している 組んでおり、三者連携の要である して学べる教育環境づくり。 和嶋延寿青森県教育委員会教育

どもたちの育成につながると考え 活動が、地域と歩み世界へ挑む子 もの成長にプラスの影響を与えて 長からは、子どもたちのために保 てPTA活動を頑張る姿は、子ど 護者の方々が教職員と力を合わせ いると信じている。活発なPTA **宍倉慎次青森県高等学校長協会**

式は盛会のうちに終了しました。 り歓迎のことばが述べられ、開会 最後に氏家剛むつ市教育長によ (調査広報委員長

感謝状代表受賞者 三本木高校 益川毅氏

靖子)

村

基調講演

『子ども達が生きる世界の現状(いま)

令和元年度青森県高等学校P て A 連合会下北むつ大会が、大 て A 連合会下北むつ大会が、大 で 子どもたち」~激動する世界 と未来へ駆け上がれ~を掲げて開 と未来へ駆け上がれ~を掲げて開 とされました。基調講演は「子ど も達が生きる世界の現状(いま)」 と題し、講師は医師の桑山紀彦先 と題し、講師は医師の桑山紀彦先

アカペラの熱唱(アメイジンググアカペラの熱唱(アメイジングンググの人々の映像が流れ、桑山先生のの人々の映像が流れ、桑山先生のの人々の映像が流れ、桑山先生のの人々の映像が流れ、桑山先生のの人々の映像が流れ、桑山先生のの人々の映像が流れ、桑山先生のの人々の映像が流れ、桑山先生のの人々の映像が流れ、桑山先生の

に会場内を虜にし てしまいました。 世界は広いけれ ど、私達を待って

めたそうです。

レイス)で瞬く間

講師 桑山紀彦氏 は遠いと思っていた子ども時代のお話から、二十歳の時初めて行ったインドで多くの人との出会いと、かつて映像で見た雄大な山々を見てみたが、放浪の旅の始

まりとなったそう

大学を卒業してからは山形県では、神奈川県海老名市にある「海は、神奈川県海老名市にある「海は、神奈川県海老名市にある「海は、神奈川県海老名市にある「海と名こころのクリニック」で診療に当たりながら、1993年2歳の時に医療ボランティアとして参加したソマリアの難民キャンプで忘れられない光景をみたそうでった。それは子ども達のたくましい姿です。自分の体重の半分以上もある水タンクを背負い、一生懸命ある水タンクを背負い、一生懸命ある水タンクを背負い、一生懸命ある水タンクを背負い、一生懸命ある水タンクを背負い、一生懸命ある水タンクを背負い、一生懸命ある水タンクを背負い、一生懸命ある水タンクを背負い、一生懸命をです。日かりは山形県でためが、

プで出会った子ども達のエネル ようになったと話してくれまし で毎日生きていきたい、そう思う 笑顔を取り戻したい、こんな笑顔 なふうに生きていきたい、こんな の当たりにしたときに、僕もこん ネルギーを蓄えている。それを目 れがちな人こそ、心にそういうエ 惨だとか、かわいそうだとか思わ を笑顔でできる。私達から見て悲 とわかっているから、きつい仕事 せになる。そういうことがちゃん おかげで、私が顔を洗える、今日 た。先生はソマリアの難民キャン は洗濯物ができる、そして人が幸 自分が苦労して運んできた水の

> うようになり、自 ないかという思い で暮らせるのでは ら、みんなが元気 でも伝えていけた も達のことを少し 域の方々にソマリ 日本という国や地 分が暮らしている もったいないと思 めておくことは 分だけの内面に留 から講演活動を始 か、みんなが笑顔 になるじゃない アで出会った子ど ギーやパワーを自

講演ではフィリピンのゴミの山、スモーキーマウンテンに暮ら山、スモーキーマウンテンに暮ら100枚で1ペソ、数キロ先から100円です。子ども達はそのお金を自分のお小遣いにするのではなく全部お父さんやお母さんに渡なく全部お父さんやお母さんに渡なく全部お父さんやお母さんに渡なく全部お父さんやお母さんに渡なく全部お父さんやお母さんに渡なく全部お父さんやお母さんに渡なく全部お父さんやお母さんに渡なく全部お父さんやお母さんに渡なく全部お父さんやお母さんに渡なく全部お父さんやお母さんに渡なく全部お父さんやお母さんに渡るを自分のお小遣いにするのではある・思いやりのある・想像力のある・思いやりのある・想像力のある・思いやりのある・想像力のある・思いやりのある・想像力のある・思いやりのある・想像力のある・思いやりのある・想像力のある・思いやりのある・想像力のある・思いやりのある・思いでは、スモールのゴミのは、スモーキーマールを表します。

APAR MILLENBURA PROMISE JAPA

MILLENBURA PROMISE JAPA

ATTENDADOR JAPA

活動紹介

んできます。
会場に響き渡る桑山先生のお話る子ども達が育っています。

今回、講演を聴いて我々の国日本の現状はどうか、自問する機会にもなりました。日頃の家庭でのにもなりました。日頃の家庭での住む地域・青森県内の子ども達にも伝えていければと思います。
みんなで地球のステージに立ち

(調査広報副委員長

松村 茂信)

『生徒とともに、学校とともに、そして保護者とともに』 柏木農業高校三学年委員長 小森

保護者も活きる、 生徒も活きるPTA

葉があり、その一言で会場全体が和んだ後、県内3校のPTA代表の方々からの発表がありました。 助言者の山崎泰浩氏(むつ工業高等学校校長)の紹介がありました。コーディネーターの佐藤氏より「発表 者の皆さんはガチガチに緊張しておられると思いますので、暖かい握手で緊張を和らげてください」 研究協議では、 初めに佐藤広政氏(コーディネーター 青森県PTA連合会顧問) の自己紹介、その後 との言

忍

秀美

とで子ども達 登校時一声運動と校内研修があり、 振るまいが人気で、毎年長蛇の列ができる賑わ り、柏農祭での餅つき大会では、餅と柏農鍋 植え体験ができ、見学していても迫力があり、 割をしており、PTAコーナーが設けられて手 校田植え大会がありますが、PTAは補助的役 たものが多く、学校行事参加型事業として、 われているということ。学校行事に参加するこ いになるそうです。PTA運営型事業としては に柏農ねぷた、全校稲刈り大会等に参加してお 応援にも熱が入るというお話がありました。他 柏農のPTA活動は、主に学校行事と連携し 保護者の意見を盛り込んだ楽しい企画で行 研修旅

柏木農業高校の発表

機会ができる

保護

の活き活きと

した姿を見る

象をうけました。

ていくのだろうという印 ミュニケーションも増え ども達との関係が深ま で学校の現状が見え、子 者も行事に参加すること という発表でした。

他の保護者とのコ

『「楽しく活動しよう」 ~子ども達のために協力を惜しまず、我々も楽しむPTA~』 八戸学院光星高等学校PTA会長 向田

ただいている

といことで、 たしました。 続いているの 楽しい活動を ながら拝聴い だろうと思い しているから それはまさに

小森

R 八戸学院光星高校の発表

> きる、 有り、

向田

秀美

村村

個男

場にもなっていく。この姿勢が協力体制を長続 する。お互いを認め、助け合える仲間づくりの 表でした。また、OB・OGの方々にも協力 ながりもあり、皆で協力し合っているという発 年間目標を決めて実践活動していて、委員会同 れました。PTAでは4つの委員会がそれぞれ 要素が大きく、出来る時に、出来る範囲で活動 PTA活動をするということはボランティア的 トーは「楽しく仲良く活動しよう」だそうです。 した発表がありました。PTAの活動のモッ 士の横のつながり、委員会内の他学年の縦の 向田氏からはPTA活動のモットーを中心に 楽しいPTA活動につながるのだと話さ

『学校と保護者をつなぐ活動について』 百石高等学校PTA会長

河村 信男 らは平成28年 百石高校か

ました。主な サポートなど 各メディアで の紹介があり リア教育への 心としたキャ ストランを中 れた高校生レ も取り上げら に始められ、

THE REAL PROPERTY.

百石高校の発表

もらう努力を続けて行かなければならないと熱く語られて 多いことに驚くとともに、羨ましく感じまし PTA活動を活発化させ、学校に関心をもって た。保護者に学校の良さを知ってもらうために 化祭応援、研修旅行等PTA行事への参加者が 活動として上げられた挨拶運動、 環境整備、 文

いました。



(調査広報委員 松野

健



青森県高等学校PTA連合会 会長 美津緒

りがとうございます。 い眼差しで見守って下さり誠にあ PTA活動及び毎日子供達を温か 皆様におかれましては日ごろの

から深く感謝申し上げます。 皆様にはご臨席を賜りました事心 ございます。又、多くのご来賓の 参加下さいまして誠にありがとう とに行われます下北むつ大会にご け上がれ~の大会スローガンのも たち』〜激動する世界と未来へ駆 "地域と歩み 世界へ挑む 子ども 本日は令和元年初めての大会

技術)の進化はとどまることを知 (人工知能)やICT(情報通信 さて、現代社会においてAI

われております。 世の中が変わり続ける事」だと言 まさしく激動の時代に私達は生 「世の中で唯一変わらないのは、

のは私達人間であり将来を担う私 ます。しかし、それを使いこなす 多種多様な面から影響を与えてい ロジーの進化は、子供達の成長に きています、 子供達を取り巻く新たなテクノ 生かされておりま

を身につける事であります。 しい倫理観を持つ事であり道徳心 けなければいけません。それは正 判別できる明確な考え方を身につ 達の子供達です。 正しく使いこなす為には善悪を

> をしても必ずしも幸福にはなれな り通る社会でもあります。善い事 いるのではないでしょうか。 い。子供達もうすうす心で思って しかし、この世は不条理がまか

あります。むしろ家庭での教育的 り除きこれからの時代を生き抜く うか。だからこそ、その不安を取 られる、あるいはお笑いののりで 働き人間として何が正しいのかと 要であると考えます。 対話(コミュニケーション)が重 ためには学校教育だけでは限界が なってきているのではないでしょ ど、現代に生きる人の心は不安に なってきたように感じられます。 一蹴されてしまうような世の中に いう事を真剣に語ることがはばか 最近、何の為に生き、何の為に 科学技術が発達すればするほ

ると私は信じております。 それがPTA活動の一環でもあ

鎖でございます。 と保護者と学校、地域を結ぶ金の PTA活動は未来を担う子供達

輝けるよう「金の鎖」で絆を深め にあおもりの未来が明るく楽しく さあ皆さん、私達の子供達の為

(下北むつ大会における 挨拶より抜粋

ウェルカムミュージック生 徒 発表

演奏に臨むことができました。

田名部高校吹奏楽委員会 委員長 3 年 中村 由衣

護者の皆様への感謝の思いを胸 とを見守ってくださる先生方や保 域の方々、そして、毎日私達のこ 輩方や、私達を支えてくださる地 ました。歴史を築いてこられた先 期演奏会を無事終えることができ ございました。吹奏楽委員会・音楽 機会をいただき、大変ありがとう は、5月末に記念すべき第50回定 部を代表して御礼申し上げます。 に、新たな歴史の1ページを刻む A連合会下北むつ大会で発表する 私達田名部高校吹奏楽委員会 この度は、青森県高等学校PT

お手伝いが少しでもできたのであこのPTA県大会を盛り上げる なった方や、受付等のお仕事をさ さったりする方もいらっしゃいま にありがとうございました。 達の心が温かくなりました。本当 心を和ませるはずが、かえって私 ルカムミュージックとして皆様の お言葉をたくさんいただき、ウェ れている方からも励ましや労いの した。演奏前後にも、お越しに もう一度聴きに戻って来てくだ ただいたり、会場に入られた後に で聴いていきたい」とお声掛けい 準備しました。演奏中は「最後ま を結成し、様々なジャンルの曲を でも、3つのアンサンブルチーム 今回のウェルカムミュージック

れば幸いです。

除霊戦隊オソレンジャー

大湊高等学校演劇部

部長 村中 琉奈

ます。大会用の作品の他に、イベ るようになりました。 ベントからも声をかけていただけ 的に取り組み、最近では地域のイ ントなどで披露する作品にも積極 タッフ5人の計14人で活動してい 下北むつ大会での出演機会を頂 部に青森県高等学校PTA連合会 き、誠にありがとうございました。 私たちは、キャスト9人とス この度は、私たち大湊高校演劇

ら4年目になります。今年はマイ た。ゴミが増えてしまっているこ テーマに、ストーリーを作りまし クロプラスチックのゴミ問題を ンジャー」は、取り組み始めてか 今回披露した「除霊戦隊オソレ

とや、綺麗だった海が汚れてし まっていることを、どうしたら見 なで考え、作品を作りました。 てもらうことができるのかをみん ることができるのか、楽しんで見 てくれる方にわかりやすく表現す 発表

こえ、終わった時にたくさんの拍ユーモラスな場面では笑い声が聞 手をいただき部員一同とても嬉し を成功させることができました。 く感じました。 たが、臨機応変に対応し、 本番では小さなミスはありまし

るような作品を作る」という自分 白い、また見たいと思ってもらえ 品作りを頑張っていきます。「面 加します。そして、大会に向け作 公演や大会、様々なイベントに参 演ができるように、日々の練習に たちの目標を達成し、より良い公 一生懸命励んでいきます。 これから、私たち演劇部は自主 今回このような機会を与えてく

感謝申し上げます。 ださった貴連合会の皆様に改めて



大会事務局

開会式・表彰式は、中村美津

1 1UA

大会を終えて

大湊高等学校渉外部主任 岡嶋

のデム班の 催できましたことに対し、実行委 参加いただき、今大会を盛大に開 賓の方々をはじめ、多くの皆様に TA連合会下北むつ大会に、御来 た、令和元年度青森県高等学校P もたち」のテーマのもとに行われ 地域と歩み 世界へ挑む 子ど

> また、 活動に関わっている方々をはじ 営にあたり、 を申し上げますとともに、 きましたのも、 あったことをお詫びいたします 大会を無事終えることがで 不行き届きの点が 県内各校のPTA 県高P連事務局

三年 計画 吉田大会実行委員長あいさつ と音楽部の歌声により ジックとして田名部高 に響きわたり、 地良い曲や歌声が会場 お出迎えしました。心 校吹奏楽委員会の演奏 ました参加者の皆様 地からお越しいただき り感謝申し上げます。 に対応していただきま おいて精力的かつ柔軟 運営業務まで、 ます。準備から当日 おかげだと感じており 皆様の暖かい御支援の 下北むつ地区協議会の したことに対し、心よ 大会当日は、 ウェルカムミュー 遠路 全てに

令和元年度 青森県高等学校

地域と歩み 世界へ挑む 子どもたち

員会事務局として深く感謝とお礼

理子 演を行っており、非常に多才で精 ちの「生きる力」を育むために講 るとともに、未来を担う子どもた 外での国際医療支援活動に従事す として日々の診察を行う一方、海 よる「子ども達が生きる世界の現 のステージ代表の桑山紀彦さんに が明るい雰囲気の中行われまし ちの良い返事で始まり、 緒大会長の活力にあふれた、気持 た。基調講演は、NPO法人地球 (いま)」でした。 日本で医師 会場全体

. 県内各 戸学院光星高校PTAの4つの委 連携した参加型事業の様子や、八 柏木農業高校PTAの学校行事と 悪者を倒すというストーリーを演 方「オソレンジャー」が海を汚す 劇部による生徒発表では、 世界観に思わず引き込まれていま 象的で、いつのまにか桑山さんの 情景にマッチした音楽と語りが印 力的な方だと感じました。講演で まれていました。 美しい海を守るために、正義の味 もたちの映像に驚愕しつつ、その は、ゴミの中で生活している子ど した。続いて行われた大湊高校演 会場は驚きと大きな笑いに包 研究協議では

下北の

ました。 見事に大役を果たしていただき 後のPTA活動に非常に参考と きるPTA」の取り組みは、 境整備など、発表された各校 会場全体が大いに盛り上がり、 広政さんの進行もすばらしく、 ターの県PTA連合会顧問佐藤 なる内容でした。コーディネー 「保護者も活きる、生徒も活

の後、 皆様にとって本大会が各地域の諸 であり、 校からなる実行委員会が準備を進 交が深まったと感じております。 ちらこちらで見られました。そ 課題の解決の参考となり、 あったかと思いますが、参加した めて参りました。何分にも不慣れ より多数の参加があり、更に親 次会や三次会にも、県内全地区 地域を越えて交流する光景があ 間マグロに舌鼓を打ち、学校や 祭りのお囃子を聞きながら、 この大会は、下北むつ地区の各 夜の情報交換会では、田名部 場所を変えて行われた二

青森県局守ナル 一説剣する世界 令和元年度

次期開催地区あいさっ

行き届かない点が多々 大

TA活動がより一層活発になるこ

とを願っています。

だきます。 もに、本大会を支えてくださいま の御活躍を祈念申し上げますとと した全ての皆様に感謝を申し上 末筆になりましたが、各校皆様 お礼のあいさつとさせていた

青森県高等学校PTA連合会 大会リーマ 「地域と歩み 世界へ挑む 子どもたち」 19 I A B A 生徒兒表 青森県立大湊高等学校演劇部 講師 といの法人に知识のスケーシ」代表記事 桑山紀彦は 「保護者も活きる、 青森県立田名部高等学校吹奏楽部・音楽部 生徒も活きるPTA 下北むつ大会 6/' 0

Summe.

疲れを癒してくれまし

化を目的とした、学校施設の環

年の縦のつながりのお話し、さら 員会活動による横のつながり、

百石高校PTAの活動活件

伝統 を受け継ぎ新たな躍 進

真の

国際人

をつなぎ、一時、30名まで減った部員数 年は少子化の影響を受けながらも部の伝統 も、現在は51名を数え、熱心に活動をして するという輝かしい歴史と伝統がある。近 国大会に計15回出場、うち5回金賞を受賞 より平成6年まで全日本合唱コンクール全 その後、 国唱歌コンクール全国大会で4位に入賞、 年には田村タカ先生の指導の下、 本校音楽部は昭和初期の創部で、 , 伊藤千蔵先生の時代は、昭和54年 NHK全 昭 和 30

県を凌駕している。「福島の壁」を打ち破 呼ばれ、中でも福島県のレベルの高さは他 音楽を奏でるには日々の地道な積み重ねが 徒は毎日7時3分から歌声を磨いた。いい しても全国大会へ進みたい、その一心で生 に思えるほど高い壁となっていた。なんと るのは青森県勢としては夢のまた夢のよう 会出場を逃していた。東北は合唱王国とも る。伊藤千蔵先生以来、青森県勢は全国大 全日本合唱コンクール全国大会出場であ 最近の活動で忘れられないのは昨年度の

見を交わし、詩 声、より多彩な 正しい姿勢、発 えりみながら音 観的に自らをか ンスを考え踊 の内容に合うダ は部員同士で意 けるため、 表現力を身につ 録画して客 演奏を録

我が部活

ていま

うような結果を出 れた大会だった。 ンクール東北支部 で、全日本合唱コ せずにいたなか たちは想いを結集 不安を胸に、生徒 大会が最後に残さ に昨年は3年生 人数が少なく、 思

された。前例を知らない私たちは緊張せず ぱいになった。全国大会は平成30年10月27 うな気がした。「18番、青森県立八戸東高 まであと一歩のトップ銀賞。他の東北勢も をする」これが私たちの目標。結果は金賞 夢の舞台に向かった。「私たちらしい演奏 日(土)長野市のホクト文化ホールで開催 を支えてくださる方々に感謝の思いでいっ かいお祝いの言葉を頂いた。私たちの活動 など、たくさんの方々に取り上げられ、 だ。この結果は、新聞社や地元のテレビ局 目指してきた夢の舞台への扉が開かれたの さに悲願の全国大会出場だった。遂に長年 とって全国大会出場は22年ぶりの快挙。ま らく会場に響き続けていた。青森県勢に 校音楽部」。生徒たちの歓喜の絶叫はしば 表される時、会場がやけに静かになったよ たる高校が読み上げられ、最後の一枠が発 ができた。 金賞を受賞しレベルの高さを証明すること して堂々と戦いに挑んだ。 結果発表。名だ 温

すべてである。

続けていくため、 伝統を受け継ぎ、 今日も私たちは歌い続け 新時代をさらに躍進し

(八戸東高等学校

楽を磨いた。特

音楽部顧問 原子 こづえ)



盟校 加 紹 介

SDGSの達成を担うリーダーとして、世ず達成出来るはずです。私たち若い世代が 界をより良くしていきましょう。」 SDGsの達成を担うリーダーとして、 ばSDGs(エス・ディー・ジーズ)は必 です。自分が動き、近くの誰かと協力すれ DGsの達成のために出来ることはたくさ「高校生だからこそ若い感覚、行動力でS による主張コンクール中央大会・国連広報第65回国際理解国際交流のための高校生 んあり、人や世界を変えていく力があるの

センター賞を受賞した本校生徒のスピー

野の目標があり、ターゲットには「食品廃目標」の略。30年までに達成を目指す17分て全会一致で採択された「持続可能な開発 れている。 ネルギーなどの分野で課題があると指摘さ 組めるものが多くある。日本は、ジェン ダー平等(性別)や貧困対策、クリーンエ ど責任を分担する」など日常生活でも取り 棄を半減させる」や「育児や介護、家事な の一部である。 *****SDGsとは2015年の国連にお

これらの学びを生かし、 る研究発表を行っている。2019年度は 青森中央学院大学留学生とのSDGs5 クトGiFTや外務省高校講演会の開催 育成すべく、グローバル教育推進プロジェ 徒達がロールモデルとなり、学校全体でグている生徒も増えてきている。最近では生 識や能力を身に付けるため、2018年度 パネルディスカッションの実施、 ローバル意識がより一層高まっている。 て、世界をより良い方向へ導こうと尽力し 献するというグローバル教育活動を展開し からSDGsを通して世界を学び、社会音 「ジェンダー平等を実現しよう」に関する ている。この学びから、熱意と信念を持っ に関心を持ち、将来その解決に寄与する意 具体的には生徒の「グローバル意識」を 本校では地球市民としてグロー 其々のクラスがS -バル問

青森明の星中学・高等学校 の育成を目 う「SDGsクラスボランティア」 DGsの目標を選択・探求し、 指して~躍進する明 教諭 ホーン Ó ィア」を開始協力して行 星生 沙耶佳

している。

外国語講座、チームSDGSの活躍も目 D)、4つのグローバルグループ:GAP ましい。 レゼンテーションコンテスト (A―TE した、有志によるSDGsを題材とするプまた、グローバルリーダーの育成を目指 (地域貢献)、MKMH (国際貢献)、 第二

いる。 徒の新たな学び・気づきとして還元され 府国際青年育成交流事業で本校を訪れたチさせ、範囲を拡大している。昨年度は内閣 初は12名であったメンバーは今では30名をDGs」である。2018年6月の結成当 GSに関するディスカッションを行った。 リとオーストリアの青年団と英語でのSD 越え、活動を重ねるごとにその活動を深化 中でも活動が顕著であるのが「チームS

たちはより主体的に創造し、 本校のグロー バル教育活動の中で、 表現し、 行生動徒

し、これか を持続可能 ものにする に確固たる 今後はこの 活躍を後押 生の更なる 担う明の星 らの世界を ししていき している。

高P連会報 91号

令和元年度 =般会計予算

収入総額 支出総額 12,053,500円 12,053,500円

0円

差引残額

|残額 |残額

20.7	200		(+12.13)
	科	目	予算額
会		費	8,065,000
	学 校	割	1,235,000
	40,000円	× 0校	0
内	25,000円	×37校	925,000
	10,000円	×31校	310,000
	会 員	割	6,830,000
en.	県 立 · 全	日制	5,760,000
訳	私立・全	日制	1,005,000
	定通・特別	寸支 援	65,000
助	成	金	500,000
繰	越	金	2,738,017
雑	収	入	483
受	取手	数 料	750,000
内	自転車総合	分保 険	250,000
訳	高校生総合係	早 障制度	500,000
	合	計	12,053,500

(単位:円)	支出の部			(単位:円)
P 算額	科		目	予算額
8,065,000	事	業	費	5,955,000
1,235,000	助	成	費	225,000
1,233,000	組箱		費	2,200,000
0	研修	行事	費	1,300,000
925,000	負	担	金	1,170,000
	表	彰	費	220,000
310,000	会	報	費	840,000
6,830,000	運	営	費	5,340,000
	会	議	費	650,000
5,760,000	旅		費	2,000,000
1,005,000	印	刷	費	300,000
65,000	事	務	費	400,000
	通信	運搬	費	260,000
500,000	渉	外	費	200,000
2,738,017	慶	弔	費	60,000
400	人	件	費	1,350,000
483	使	用	料	70,000
750,000	杂隹		費	50,000
250,000	租租	兑 公	課	120,000
	繰	出	金	100,000
500,000	予	備	費	538,500
12,053,500	合		計	12,053,500

令和元年度! 特別会計予算!

収入総額 支出総額 差引残額 8,480,500円 8,480,500円 0円

収入の部

収入の部

(単位:円) 支出の部

(単位:円)

項		目	予算額
繰	越	金	8,379,923
繰	入	金	100,000
雑	収	入	577
É	ì i	計	8,480,500

,						
	項	į		E	∃	予算額
	助		成		金	0
	特	别	支	出	金	0
	予		備		費	8,480,500
		合		計		8,480,500

令和元年度 事業計画

活動方針及び事業計画

- 1 生涯学習を推進し、会員研修と広報活動を充実する。
- (1) 各委員会主管の研修会や各地区協議会研修会等へ積極的に参加する。
- (2) 県大会(むつ市)、東北大会(山形市)、全国大会(京都市)へ積 極的に参加する。
- (3) 各委員会活動を活性化する。
 - ・各委員会主管の研修会を充実する。
 - 東北地区高 P 連・全国高 P 連各委員会活動を担う。
- (4) 広報紙コンクールに積極的に応募すると共に、審査会を充実する。
- (5) 広報活動を拡充する。
 - ・広報紙「つながり」(年2回発行)の内容を充実する。
 - ・リーフレットを新入生保護者に配布し、本連合会及びPTA活動 の理解を深める。
 - ・本連合会ホームページ (http://www.aomori-koupren.com/) により各種情報を提供する。
- 2 単位PTA及び地区協議会活動を助成する。
 - (1) 各地区協議会の研究活動に対する助成を行うと共に、連絡や連携 を密にする。
 - (2) 単位 P T A 会長会議を開催 (年 2 回) し、諸課題について協議すると共に情報交換を深める。
 - (3) 高校生の健全育成に取り組む活動を支援する。
 - (4) 生徒の安全に関する保険等への団体加入を推進する。
 - ・全国高 P 連賠償責任補償制度、自転車総合保険、高校生総合保障制度の加入率向上に努める。
- (5) PTA活動の望ましい在り方について調査研究を行い、生徒数減 等による組織縮小化に対する様々な方策を模索する。
- 3 関係機関や関連団体との連携を推進する。
- (1) 県教育委員会・県高等学校長協会等と連携し、教育環境における 諸課題や進路対策等に積極的に取り組む。
- (2) 県高校定時制通信制教育振興会・私立高校保護者会連合会・特別 支援学校PTAに対して助成を行う。
- (3) 県教育委員会等主催による研修会へ積極的に参加する。
- (4) 教育環境改善促進のための各種情報収集を行う。

令和元年度 委員会名簿

委員会名	役 名	氏	名	所属校名	単P役職名
	委員長	松澤	充	金木	会 長
	委 員	大河原	直 子	青 森 西	副会長
健全育成	委 員	木 村	真紀子	東 奥 義 塾	副会長
(建王月)以	副委員長	大 崎	光 明	八戸学院光星	副 会 長
	委 員	横手	義 信	三本木農業	健全育成委員長
	事務局長	岩田	金 光	金木	渉 外 主 任
	委員長	古 舘	至	七 戸	進路対策委員長
	委 員	山内	愛 子	青 森 南	進路対策委員長
進路対策	副委員長	金 田	実	弘 前 実 業	副 会 長
進昭 列 東	委 員	小 栗	文 彰	八 戸 西	進路対策委員長
	委 員	伊 東	健 治	鰺 ヶ 沢	進路対策委員長
	事務局長	小笠原	辰 実	七 戸	渉 外 主 任
	委員長	中村	靖 子	青森明の星	調査広報委員長
	委 員	棟 方	晃	弘前学院聖愛	会 長
調査広報	副委員長	松 村	茂 信	八 戸 東	調査広報委員長
阿且 丛 秋	委 員	松 野	健	五所川原農林	調査広報委員長
	委 員	領毛	理	田 名 部	副会長
	事務局長	小 澤	綾乃	青森明の星	渉 外 主 任
	委 員 長	阿部	善将	柏木農業	副 会 長
	委 員	菊 池	知 子	青 森 工 業	研修委員長
研 修	委 員	大 野	彰 子	八戸学院光星	研修委員長
101 105	委 員	工藤	小百合	五所川原商業	研修委員長
	副委員長	奥 村	睦 子	三本木農業	研修委員長
	事務局長	北畠	顕嗣	柏 木 農 業	渉 外 主 任

令和元年度 役員名簿

役	職	名	E	Ŧ.	í	3		所属	校名	7	備考	
会		長	中	村	美泽	津緒	青	Ž	旅	西		
			蝦	名	真	希	青	森日	明の	星	東青地区協議会長	
			今	井		武	柏	木	農	業	中南地区協議会長	
			向	田	秀	美	八	戸学	院为	: 星	三八地区協議会長	
			藤	田	重	彦	鶴			田	西北地区協議会長	
			畑	Щ	昭	博	三	本	木 農	業	上十三地区協議会長	
副	会	長	吉	田	錦	_	大			湊	下北むつ地区協議会長	:
田リ	X	JK.	宍	倉	慎	次	青			森	県高校長協会推薦	
				川原	堅	藏	大			湊	"	
			中	嶋		豊	弘	前	実	業	"	
			柴	田	_	則	八	工;	大 第	二	私立高校保護者会推薦	
			越	田	宏	治	青		髹	東	会長推薦	
			泉		夏	樹	青		床	南	"	
			敦	賀	定	彦	青	森	商	業		
			髙	野	浩	輝	柏	木	農	業	県高校長協会推薦	
理		事	明	石		進	八		大 第		各地区1名	
			幸	Щ		勉		所川		業	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
			遠	藤		剛	三	本	木 農			
監		事	南			忍	大			間	下北むつ地区協議会	
			渡	部	靖	之	北			斗	県高校長協会推薦	
		長員長	松	澤		充	金			木	西北地区協議会	
進路対			古	舘		至	七			戸	上十三地区協議会	
		長員長	中	村	靖	子	青	森	明の	星	東青地区協議会	
研修	委	員 長	[iii]	部	善	将	柏	木	農	業	中南地区協議会	
顧		問	若	宮	佳	_	八			戸	前会長	

青森県高P連事務局

事	務后	· 長	千代谷	均	
事	務局	次 長	原 田	豊 則	
事	発 主	: 任	今	美智紹	

編 集 後 記

令和元年度青森県高等学校PTA連合会下北むつ大会に参加し、大会テーマ「地域と歩み 世界へ挑む 子どもたち 〜激動する世界と未来へ駆け上がれ〜」の持つ意味について考えることができました。激動する現代社会においてPTA活動は子どもたちの明るい未来のために大変重要な役割を担っており、活発な活動が地域貢献にもつながると改めて感じました。今年度、令和元年度調査広報委員全員で協力し、広報紙「つながり」において様々な情報を発信して参ります。ご協力よろしくお願いいたします。 (調査広報委員長 中村 靖子)

一般財団法人 青森県高等学校安全互助会

安全互助会だより

FAX 017-757-8587

53号

2019.7.12



安全互助会だより 編 集 室

〒030-0113 青森市第二問屋町4丁目11-6 計量検定グループ庁舎内

E-mail: akp017si@galaxy.ocn.ne.jp

令和元年度 収支予算書

TEL 017-757-8586

■収益の部 (単位:円) 科 目 予算額 経常収益 18,890,000 うち会費収入 18,880,000 うち雑収入 10,000 経常外収益 0 収益の部合計(a) 18,890,000

■費用の部 (単位:円)

科	予算額
経常費用	22,385,000
事業費	19,196,000
うち学校安全普及事業費	600,000
うち共済金等給付事業	9,001,000
うちその他の事業費	9,595,000
管 理 費	3,189,000
経常外費用	0
費用の部合計 (b)	22,385,000

(単位:円)

正味財産期首残高	139,269,309
当期増減額(a) - (b)	- 3,495,000
正味財産期末残高	135.774.309

令和元年度 事 業 計 画

- ◆ **学校安全の普及充実事業**…講習会・研修会の開催や共催、後援
- ◆ 共済金の給付…死亡共済金・後遺障害共済金・負傷共済金・香料
- ◆ その他目的を達成するために必要な事業 安全互助会だより53・54号発行、安全互助会運営のPR活動、各 種事業への助成等

令和元年度 役 員 名 簿

■理事・監事

職	名	E	£	1	<u>ጎ</u>	所 属
理事	手長	大	溝	雅	昭	元青森県高等学校PTA連合会顧問
理	事	宍	倉	慎	次	青森県高等学校長協会長
理	事	安	達	健	夫	青森県立青森中央高等学校長
理	事	敦	賀	定	彦	青森県立青森商業高等学校長
常務	理事	千什	代谷		均	青森県高等学校安全互助会事務局長
監	事	須	崎	正	輝	元青森県立金木高等学校PTA会長
監	事	Ξ	浦	輝	行	青森明の星短期大学教授

■評 議 員

職名	E	£	4	<u>ጎ</u>	所属
評 議 員	西	澤	ナミ	₹子	元八戸学院光星高等学校PTA会長
評 議 員	益	Ш		毅	前三本木高等学校PTA会長
評 議 員	太	田	清	貴	元青森商業高等学校PTA会長
評 議 員	太	田	宏	暁	東奥義塾高等学校教諭
評議員	下	Щ	美智	冒子	五所川原商業高等学校長
評議員	下	Щ	昌	_	元青森西高等学校渉外主任

平成30年度 事 業 報 告

1 =	学校安全普及充実事業費	589,284円
(1)	地区協議会 安全教育活動費	289,284円
(2)	青森県高等学校体育連盟	100,000円
(3)	青森県高等学校文化連盟	100,000円
(4)	青森県高P連安全教育活動費	100,000円

2 共済金等給付事業費		8,100,791円
(1) 死亡共済金	0件	0円
(2) 後遺障害共済金	0件	0円
(3) 負傷共済金	439件	8,000,791円
(4) 香料	2件	100,000円

3 その他事業費	281,070円
(1) 安全互助会だより51号	56,700円
(2) 安全互助会だより52号	55,890円
(3) 安全互助会の手引き	62,640円
(4) 新入生保護者用リーフレット印刷代	105,840円

青森県高等学校安全互助会加入生徒数	
全日制	31,529名
定時制・特別支援学校	1,095名
通信制	344名
総数	32,968名